

平成28年度 土佐町社会福祉協議会事業報告書

〈事業総括〉

平成28年度は、社会福祉法人制度改革に伴い社会福祉協議会が地域の皆様に理解され、如何に貢献できるかが問われるスタートの年となりました。土佐町社協では、地域支援・社協強化計画を推進し、4月には評価委員会も実施することができ、各事業の円滑な運営を目指してまいりました。

中でも、福祉教育においては、教育委員会や総務企画課等との連携を重要とし、一連の取り組みが高知新聞に大きく掲載され、さらに平成29年2月には、高知県知事が来町され土佐町中学校の取組について視察されるなど、行政・社協・地域が一体となって子どもたちの学びを支える体制について評価をいただきました。

これを機会に社協への理解を深めていただくとともに、保護者の皆様に「支え合い 助け合い」の活動について周知に努めていかなければなりません。

また、生活支援コーディネーターの配置や、あったかふれあいセンター強化事業に伴うパート職員の雇用など、職員体制の充実に伴う組織マネジメントが重要となってきた年度であり、在宅福祉部と地域福祉部の役割の明確化と同時に個別支援と地域の支え合い活動をいかに連携させることができるかが重要となった年度でした。

法人運営部では

社会福祉法人制度改革に伴う、定款変更、評議員選任・解任委員会の設置等に関連した経理規程の改定等法令遵守に向け、円滑な移行に努めてまいりました。また懸案でありました、嘱託職員の処遇改善のため規程改定を行い今後の人材確保にむけ、体制整備をすすめることができました。

福利厚生面では、健診の費用の一部補助やユニホームの作成等の取り組みをすすめることができましたが、より一層働きやすい職場の環境改善にむけて取り組まなければなりません。広報活動ではアンケートを実施し紙面改善にむけて取り組みをすすめております。フェイスブックの運用も徐々に実績がでてきており、ホームページの作成を早急にすすめるとともに、インターネットを利用していない方々に対し社会福祉協議会の各事業に対するご理解をいただくために、地域に出向き説明会を行うなど一層の努力が必要です。

在宅福祉部では、

住み慣れた家での生活を1日でも長くできるよう、地域福祉部門や地域包括支援センターとの連携に努めてまいりました。特に生活支援コーディネーターの位置づけについて、地域包括支援センターとの協議をすすめ、即応性・実働性のある支援体制づくりに向け、協議してきました。

訪問介護サービス事業では、職員の病休や利用者の増減がありながらも、収支は昨年なみに保つことができました。障害者支援や生活困窮者支援においては、行政との連携による支援体制が整ってきており、今年は、出口づくりをすすめるにあたって、広域的な連携体制を視野に入れつつ各機関と連携強化に努めてまいりました。

しかしながら、個々の希望や条件にあった仕事や集まりの場づくりにおいては、課題も多くまだまだ検討が必要です。また、障害（児）者相談支援にあたっては町外に在住する方の支援について、遠距離である上に、地域におけるサービスの把握等アセスメントが難しいなど課題が見えてまいりました。

本年度は、民生委員児童委員協議会との連携により子どもたちの見守りをすすめてまいりました。土佐町における見守り体制は一定地域の力でできているものの、住民が主体となった防災活動等まだまだ弱く、地域力は年々低下しております。

今後は、で愛ふれ愛たすけ愛懇談会を実施し地域の皆様と共に見守り活動を考えていく場をつくっていかなければなりません。

地域福祉部では、

昨年に引き続き、行政の地域担当職員と連携した旧小学校区の支援にあたってきました。社協に集い発案から企画実行できるようになってきており、ボランティアセンターが住民活動拠点として見え始めています。

ボランティアセンターでは、住民の方々のやりたいことを応援する活動が促進され、人権映画上映や、ミニ88カ所を通じあらゆる方々がつながり、ウォーキング、マップづくりなど広がりを見せています。このように、住民・行政・地域おこし協力隊や地域支援企画員等とのチームによる住民活動支援がより促進され、コミュニティ再生にむけた相乗効果となっています。

あったかふれあいセンターでは、述べ9,408人の参加があり、2月に実施したあったかふれあいセンターフェスティバルは、200人の参加を得て、地域の力を引き出すきっかけとなりました。今後は、住民がやれる範囲で、継続して集いが開催される体制づくりが必要ですが、年々ボランティアの高齢化が進む中、養成講座の開催は急務でありボランティアセンター機能の明確化にむけて一層努力が必要です。

本年度の事業報告において課題を明らかにし、「やっぱりここにおってよかったねえ」と言える福祉の町づくりに向けて更に邁進してまいります。



◆法人運営部門◆

地域の皆様とのコミュニケーションを積極的に図るとともに、積極的な情報開示に努めました。また基金の有効な運用を協議するとともに、財源確保に努め、地域福祉活動に還元することができました。

(1) 社会福祉大会の開催

平成28年10月22日(土)に第36回土佐町社会福祉大会を開催し、福祉関係功績者に対し表彰並びに感謝状を贈呈した後、福祉推進校活動や地域福祉活動などの発表を行った。

▶ 参加人数	案内参加者 119名	一般参加者 67名
▶ 被表彰者		
大会長表彰	ご長寿	3名
	模範介護者	1名
大会長感謝状	多額寄附者	15名
▶ 福祉活動推進校発表	土佐町小学校 4年生	
	土佐町中学校 3年生	
▶ 活動発表	地域福祉活動計画の推進	
	相川小学校区の取組「相川ららら」	
	土佐町社会福祉協議会「あったかふれあいセンター」	

(2) 福祉とさちょうの発行

2,300部 3回

(3) ホームページの立ち上げを検討

▶ 地域支援企画員とデザインについて検討 2回

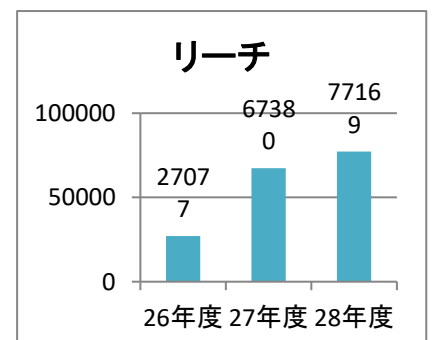
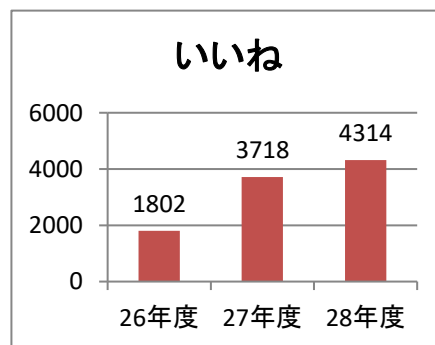
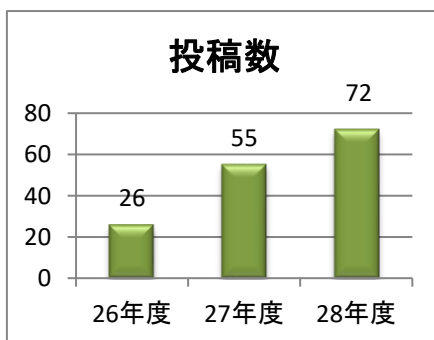
(4) フェイスブックの運用

▶ フェイスブックを運用し広報活動を行った

フェイスブック投稿 72回

4,314 いいね

77,169リーチ



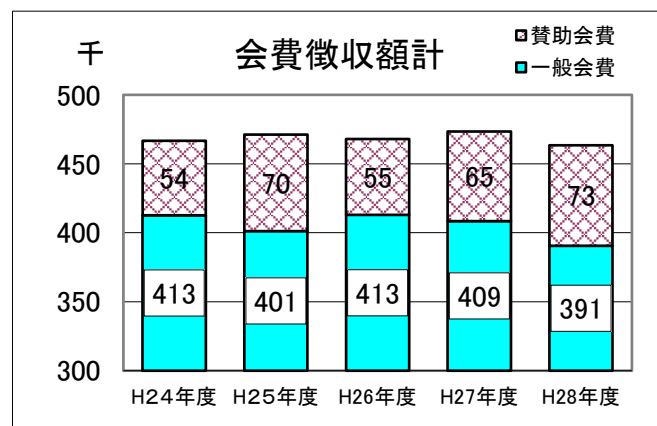
- (5) 社会福祉協議会パンフレット等を作成し啓発利用 1 回
- (6) 地区長会における事業理解促進 4 回
- (7) マスコミ・他の広報紙等への掲載
- ▶ 高知新聞 「福祉で地域づくり 学校イベント支援」
「土佐町ミニ88カ所歩こう」
「家具転倒防止 児童が協力」
「中学生 空き家カフェ盛況」
「移住呼び込もう 土佐町中空き家改修」
 - ▶ 執筆 「地域共生の開発福祉」ミネルヴァ書房
 - ▶ テレビ放送 「中学生空き家再生プロジェクト」
- (8) 告知端末放送の活用 随時
- (9) 各地域、団体を対象とした社協事業説明
- ▶ 老人クラブ役員会にて 2 回
- (10) 後援・共催事業の実施
- ▶ 高知県身体障害者福祉大会
 - ▶ 高知県老人保健福祉大会
 - ▶ 土佐町すみれ楽団チャリティーコンサート
 - ▶ 土佐町座談会
 - ▶ さとにきたらええやん映画上映会
 - ▶ トムソーヤアドベンチャースクール
 - ▶ アドベンチャースクール レイホクゴロワーズ
 - ▶ ハピネススポーツクラブ ミニ88カ所 ウォーキングイベント
 - ▶ Aチームライブツアー
 - ▶ 活動計画に関するイベント
 - 新井堰アメゴつかみ取り大会
 - 平石あめごつかみ取り大会
 - 松ヶ丘三地区合同花見
 - 松ヶ丘三地区芋煮会
 - 相川ららら
 - 石原サマースクール

(11) 会費増強にむけた理事会・評議員会による協議

1 回

- 会員加入推進と会費の徴収に努めた
(一般会員:300円・賛助会員:1,000円)

- ▶ 会費徴収額 390,550 円
- ▶ 一般会費 1,282 世帯
- ▶ 賛助会費 73人(役職員等)



(12) 基金の有効活用と運用計画作成

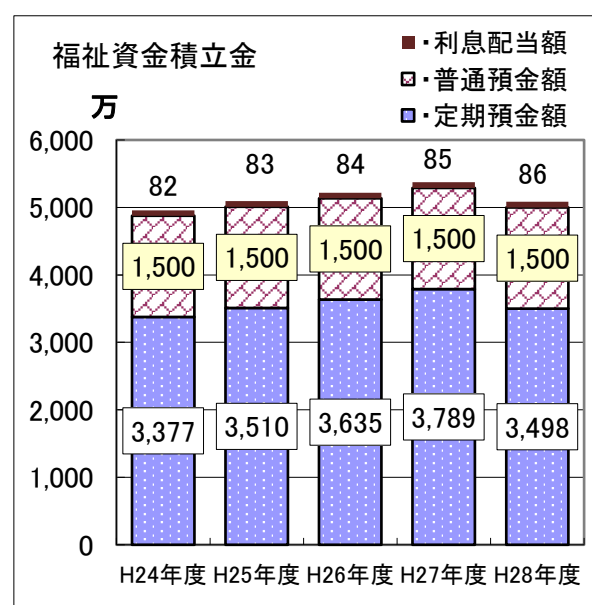
- 福祉基金積立

基金積立額

- ▶ 定期預金額 34,984,680 円
- ▶ 普通預金額 15,000,000 円
- ▶ 利息配当額 858,464 円

- 地域支援金事業の促進 (28年度実施事業)

- ▶ 相川ららら実行委員会 100,000 円
- ▶ 和田を元気にする会 100,000 円
- ▶ 新井堰の活用を考える会 50,000 円
- ▶ 平石校下会 50,000 円



(13) 受託事業等の実施と検証

- ▶ 補助事業 法人運営、心配ごと相談所開設事業、ボランティアセンター活動事業
- ▶ 委託事業 転倒予防教室フォローアップ事業、生活管理指導、職員派遣
あったかふれあいセンター事業、認知症予防事業(土佐町)
あったかふれあいセンター機能強化事業、生活支援体制整備事業
障害者相談支援事業
日常生活自立支援事業(県社協)
自立相談支援事業(生活困窮)(中央東福祉事務所)
- ▶ 介護保険 訪問介護
- ▶ その他 障害福祉サービス、団体事務委託

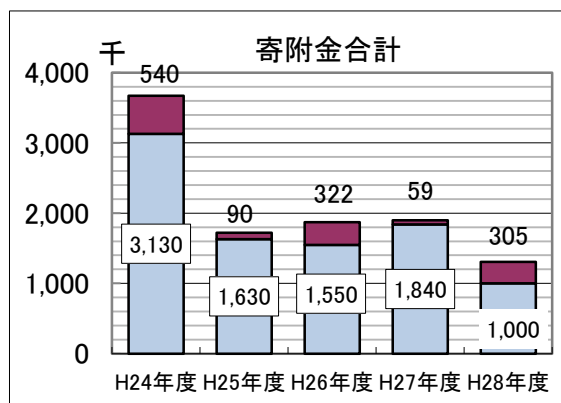
(14) 助成事業に積極的に応募するなど事業資金確保

- ▶ 配分金事業 老人福祉(給食)、福祉育成援助活動(福祉大会・広報)

(15) 募金、寄附についての学習会開催

- 小学校における共同募金の説明 1回
- 寄附活動への理解を促進し、福祉基金・事業資金への寄付を受け入れた

- ▶ 福祉基金寄附金 10 名
1,000,000 円
- ▶ 事業資金寄附金 5 名・3団体
304,530 円



(16) 共同募金利用団体との募金活動連携強化

- 共同募金について住民への周知に努め募金活動を実施した
 - ▶ 一般募金
目標額: 856,000 円 実績額: 926,404 円
 - ▶ 歳末たすけあい募金
目標額: 30,000 円 実績額: 0 円
 - ▶ 共同募金配分金事業(一般募金配分額:610, 239円)
高齢者福祉事業として老人給食材料費と配食ボランティアへの実費弁償費に、また社会福祉大会経費、広報費として活用した
- 日赤奉仕団の活動支援と共に、社資募集を行った
 - ▶ 日赤社資
目標額: 641, 000 円 実績額: 593,606 円
- 地区長会の協力により、護国神社奉賛金を募り納付した
 - ▶ 納付額: 236, 333 円

課題を明確にするため検証を重ね、事業を見直し、地域ニーズに沿った次号の推進に努めました。また目標に向かい一致団結して行動できる組織づくりをめざし取り組みました。

(1) 社協強化・地域支援計画におけるPDCAサイクル実施

- ▶ 9月に中間報告を作成し、推進状況を確認した

(2) 職員会における定款・規程・要綱・マニュアルの確認

- ▶ パートタイム職員への説明 1 回
- ▶ 嘱託職員への説明 1 回

(3) 行政との事業評価と法改正に伴う事業見直し協議

2 回

- ▶ 生活支援コーディネーターの位置づけや、各事業の推進における方向性について協議した

(4) 団体事務の合理化と団体活動支援

- ・民生委員児童委員協議会 ・老人クラブ連合会 ・遺族会
- ・身体障害者協議会 ・日本赤十字社土佐町分区 ・日本赤十字社中央東地区
- ・共同募金土佐町支会

(5) 理事会(部会)の開催による協議

6 回 (内 部会1回)

(6) 評議員会による評議

3 回

- 理事会・部会・評議員会の開催により事業計画と予算執行の安定かつ効果的な法人運営に努めた

会議名 日程	決議事項	参加人数
第1回理事会 平成28年5月27日 10:00～11:45	・平成27年度事業報告並びに収支決算承認について ・平成27年度会計監査報告について ・平成28年度法人拠点区分補正予算について ・登録ヘルパー就業規則廃止について ・パート職員就業規則施行について	理事 10 名 監事 2 名 計12 名
第1回評議員会 平成28年5月30日 18:00～19:20	・平成27年度事業報告並びに収支決算承認について ・平成27年度会計監査報告について ・平成28年度法人拠点区分補正予算について	計23 名
第2回理事会 平成28年9月26日 13:30～15:40	・社会福祉大会要項及び表彰者・感謝状贈呈者推薦について ・正職員募集について ・その他について	理事 10 名 監事 2 名 計12 名
第2回評議員会 平成28年11月10日 13:30～14:40	・社会福祉法人制度改革に伴う定款変更について ・理事の選任について	計26 名
第3回理事会 平成28年11月10日 10:00～11:45	・定款変更について ・評議員選任・解任委員会運営規程について	理事 10 名 監事 2 名 計12 名
第4回理事会 平成28年12月2日 10:00～11:10	・定款変更について ・評議員選任・解任委員会委員選任について ・給与に関する規程の一部改訂について	計25 名
第5回理事会 平成29年2月8日 13:30～15:20	・定款第7条に基づく代表権について ・部会設置規程に基づく部会構成について ・顧問の設置について	計12 名
第6回理事会 平成28年3月28日 15:00～16:45	・平成29年度事業計画について ・平成29年度予算について ・嘱託職員契約締結について ・経理規程一部改訂について	理事 10 名 監事 2 名 計12 名
第3回評議員会 平成29年3月29日 13:30～14:40	・平成29年度事業計画について ・平成29年度予算について ・嘱託職員契約締結について	計17 名

(7) **職員会 部会 主任会の開催と充実**

- 主任会・職員会を実施し、健全な法人運営や事業経営をめざすとともに、報告・連絡・相談を徹底し各部門間の連携に努めた。

- ▶ 職員会 12 回
- ▶ 主任会 5 回
- ▶ 在宅福祉部会 6 回
- ▶ 地域福祉部会 14 回
- ▶ 毎日ミーティングの実施

(8) **三役会の開催** 3 回

(9) **職員面談の実施** 2 回 (役職員・事務局長)
他個別面談実施

専門機関からの支援を受け、コンプライアンスの徹底を図るとともに、職員の資質向上をめざし取り組みを進めました。

(1) **各研修・学習会への積極的参加**

- 職員の資質向上のため、他の社協への訪問や研修参加に努めた

- ▶ 法人運営・会計関係 5 日 延べ 5 人
- ▶ 在宅福祉事業関係 40 日 延べ 45 人
嘱託職員の介護職員初任者研修を受講させた 1名
- ▶ 地域福祉事業関係 5 日 延べ 14 人
嘱託職員の社会福祉主事認定講習を受講させた 1名
- ▶ 役員研修 1 日 延べ 5 人

(2) **大学・専門機関からの指導助言を促進**

- ▶ 日本福祉大学 1 回

(3) **法改正に則した諸規程の見直し**

- ▶ 定款変更(全部改定)
- ▶ 登録ヘルパー就業規則廃止
- ▶ パートヘルパー就業規則新規施行
- ▶ 定款変更(一部改訂 全社協モデルに沿った見直し提案)
- ▶ 評議員選任・解任委員会運営規定新規施行
- ▶ 給与に関する規程の(一部改訂)
- ▶ 経理規程(一部改訂)
- ▶ 嘱託職員就業規則(一部改訂)

(4) 第三者評価委員の設置

(未実施)

(5) 先進的な社協等との交流及び視察研修及び受け入れ

○ インターンシップや視察研修受け入れ

▶ 和歌山県 紀南サロネットワーク(すさみ町 白浜町)	9 人
▶ 土佐町議会研修受け入れ	6 人
▶ 高知医科大学 福祉課より研修受け入れ協力	2 人
▶ 文部科学省・公正取引委員会・外務省 新任研修	3 人
▶ 高知学園短期大学研修受け入れ 学生フィールドワーク	21 人
▶ 若草養護学校 就労研修	1 人
▶ 高知大学 京都大学研修	17 人
▶ 高知県立大学 社会福祉学部	6 人
▶ 高知大学玉里教授招聘韓国の大学生及び教授	8 人
▶ にっぽん子供応援団	7 人
▶ 善通寺市筆丘地区社会福祉協議会	25 人
▶ 高知県立大学・兵庫大学研修	4 人
▶ 島根県太田市自治会連合会	22 人
▶ 四国中央市 土居地区	18 人
▶ NPO法人いちいの郷	7 人
▶ いの町ほけん福祉課(ボランティア講座視察)	15 人
▶ 善通寺市社会福祉協議会	38 人
▶ 美作大学 小坂田ゼミ生	6 人
▶ 日本NPOセンター	2 人

合計 217 人

(6) 危機管理の強化(情報漏えい・災害時対応等)

- データー時保管用USBメモリーを各人に配布、個人情報を持ち出さないように注意喚起

(7) 学習会の開催

▶ マイナンバーについて	町との共同
▶ 年始研修	町との共同

(8) 文書の保存・廃棄等適切な管理

- 年末に文書整理と廃棄実施

(9) 働きやすい職場づくり

- ▶ 職員会議で業務中の問題点を共有し、事故防止に努めた
- ▶ 面談等において各人より要望を聞くなどして改善に努めた
- ▶ ウインドブレーカーを全職員に配布した
- ▶ 検診料の一部負担の実施
- ▶ 嘱託職員の勤務日数を変更することにより、処遇改善を図った

行政・各関係機関との連携をより強化し、地域福祉事業の位置づけを明確にできるよう取り組みました。また、町と一体となり、各諸計画に基づいた事業を推進するとともに、第5次地域福祉活動計画の実現にむけた支援の強化に努めました。

(1) **第5次地域福祉活動計画評価委員会の設置・運営**

- ▶ 4月28日 地域福祉活動計画評価委員会を実施した
評価委員・オブザーバー 11名 職員 2名

(2) **役職員の地域担当制の整備**

- ▶ 主任会・職員会にて地域担当の業務について協議を行った

(3) **行政各課との連携強化**

- 行政・社協相互の事業の理解と連携を図るため連携会議を開催した
 - ▶ 健康福祉課との連携会議 2 回

(4) **議会議員との懇談会開催 (未実施)**

(5) **町・県の実施する連携に関する会議への参加**

- ▶ 生活保護及び生活困窮者自立支援事業打合せ会 1 回
- ▶ 高知県社協 嶺北四町村社協会長事務局長懇談会 1 回
- ▶ 障害者就業・生活支援センター「ゆうあい」平成28年度中央東地区連絡会 1 回
- ▶ 中央東圏域指定特定相談支援事業所連絡会 1 回
- ▶ 生活困窮者自立相談支援事業説明会 1 回
- ▶ 平成28年度「若者の学びなおしと自立支援事業」(土長南国地区)連絡会 1 回
- ▶ 自立支援協議会 就労支援部会準備会 1 回
- ▶ 集落支援員連絡会 12 回
- ▶ 平成28年度嶺北キャリア教育実行委員会 第1回 1 回
- ▶ 自立支援協議会 相談支援部会 1 回
- ▶ 土佐町人権教育研究協議会 1 回
- ▶ あったかふれあいセンター推進連絡会 2 回
- ▶ れいほく地区障害者自立支援協議会 1 回
- ▶ 土佐町要保護児童対策地域協議会 実務者会議 3 回
- ▶ 平成28年度嶺北地区自殺対策・うつ対策市町村関係連絡会 1 回
- ▶ 地域ケア会議(個別ケア会議) 4 回
- ▶ FAAVO高知サブオーナー会議 1 回

◆在宅福祉部門◆

身近で気軽に相談できるよう相談体制を強化し、訪問介護等により在宅における自立した暮らしを支援しました。

(1) 訪問介護における在宅生活支援

○ 訪問介護事業では、経費節減や安定的なサービス提供ができるように努めた

▶ 介護保険事業

訪問介護事業

対象者 年間 23 人 (平成29年3月現在 14人)

予防給付事業

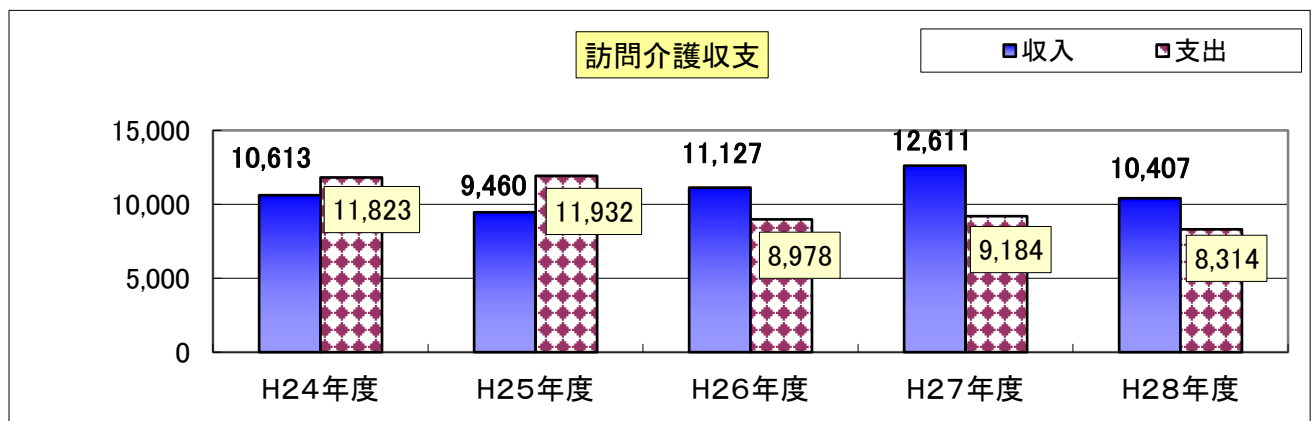
対象者 年間 20 人 (平成29年3月現在 14人)

▶ 障害福祉事業

対象者 年間 4 人 (平成29年3月現在 4人)

▶ 自立生活支援訪問事業(町委託金対象)

対象者 年間 0 人 (平成29年3月現在 0人)



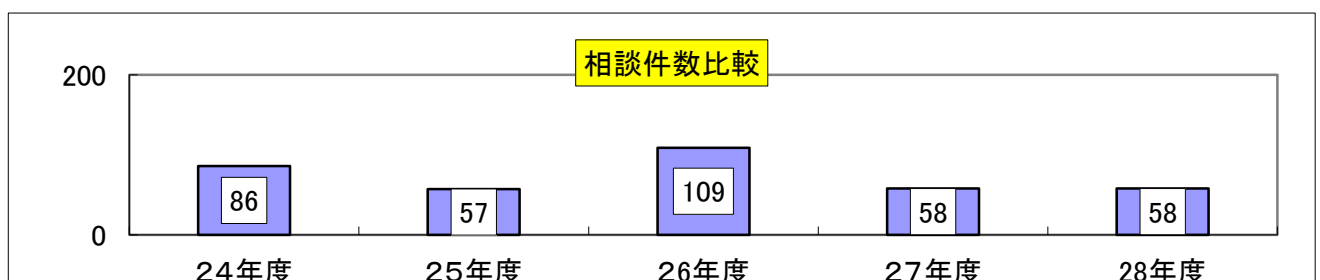
(2) 心配ごと相談所を活用した出張相談対応

12 回

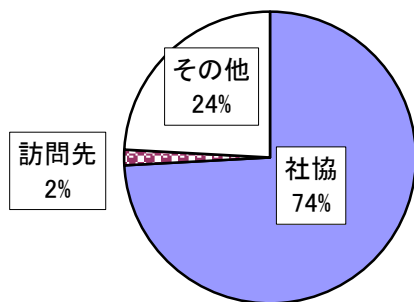
(3) 『きいてねっと』での電話や面談による相談対応

58 回

○ 総合的な相談窓口として相談を受け付け対応した

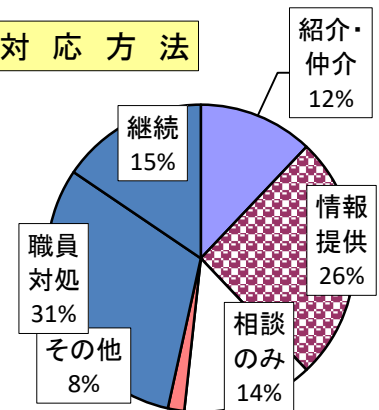


相 談 場 所

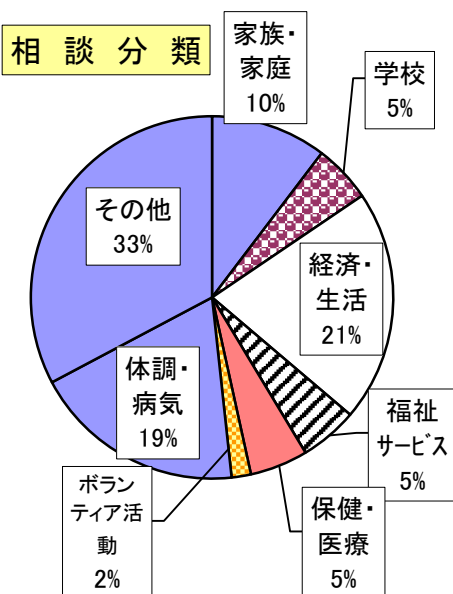


相談場所		相談方法	
43	社 協	電 話	20
1	訪 問	来 所	25
14	その他	その他	13
58	計	計	58

対 応 方 法

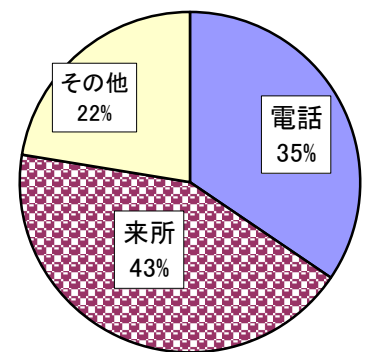


相 談 分 類



相談分類		対応方法	
1	ボランティア活動	紹介・仲介	7
6	家族・家庭	情報提供	15
3	学校	相談のみ	8
12	経済・生活	VC連携	1
3	福祉サービス	職員対処	18
0	いきがいづくり	継続	9
3	保健・医療		
11	体調・病気		
19	その他		
58	計	計	58

相 談 方 法



(4) 個別訪問(アウトリーチ)による生活課題の相談対応

延べ 417 件

(5) 介護用品等に関する相談対応

0 件

制度やサービスの隙間にある方への個別支援体制を強化し、各専門職と連携し、個々の課題に応じた伴走的な支援体制づくりにむけて取り組みました。

(1) 生活困窮者自立支援法に基づく自立支援

総合相談窓口として相談を受け、各機関と連携し対応に努めた

- ▶ 県・中央東福祉保健所・県社協・嶺北4町村社協等と、支援についての協議、連携
- ▶ 関係機関、各団体等の会合・あったかふれあいセンター等に参加し、協力依頼、情報収集
- ▶ 定期的に各支所、図書館、書店、コンビニ等に関連チラシ等配布、協力依頼、

情報収集

- ▶ 各事業所等において雇用に関する協力依頼
- ▶ プレ支援会議が定期的開催され、各関係機関との連携や、支援が必要な住民に対する効果的なアプローチについて意見交換
- ▶ 県社協フードバンクと連携し、食糧支援
- ▶ 研修会、説明会、連絡会等へ参加 30 回
- ▶ 個別訪問等で情報収集、要支援者支援 延べ 390 件
- ▶ 自立相談支援機関受付件数 19 件
 - ・ プラン作成 4 件 (うち前年度から継続2件)
 - ・ 同意に向けて取り組む 2 件
 - ・ 他機関につなぐ 10 件
 - ・ 情報提供のみで終了 5 件
 - ・ 相談継続 1 件
 - ・ その他(窓口で完結、打ち切り、解決) 0 件

(2) 相談支援員・主任相談支援員配置による支援体制整備 各 1 名

(3) 障害者総合支援法に基づく計画相談及び自立支援

- 一般相談事業を受託し、障害(児)者の相談支援を実施した
 - ▶ 土佐町 19 人 対応時間 184.25 時間
- 指定特定相談支援事業(計画相談支援)の状況(平成29年3月末現在)
 - ▶ 土佐町 22 人

(4) 日常生活自立支援事業による生活支援

- 高齢者や障害者の方などが自分ひとりで判断することが難しくお困りの場合に、安心して日常生活が送れるように支援に努めた
 - ▶ 利用者 2 名 (認知症高齢者1名・知的障害者1名)
 - ▶ 利用内訳
 - 日常的金銭管理サービス 1 人
 - 書類などの保管サービス 1 人
 - ▶ 関連支援
 - 制度利用準備中 3件
 - 後見人制度利用がうまくいっていないので手伝っているケース 1件

(5) 生活支援員による支援体制整備

- ▶ 担当者 専門員(職員)1名 + 生活支援員 1名

(6) 低所得者層への福祉資金貸付けによる自立生活への支援及び償還指導

- ▶ 生活福祉資金貸付事業委託事務
- ▶ 県社協の行う貸付事業に対し、民生児童委員協議会とともに、債務者への償還指導ならびに、貸付相談に応じた

平成29年3月31日現在 貸付件数	3 件
-------------------	-----

平成28年度 新規貸付	0 件
-------------	-----

相談4件あるも事業非該当で貸付なし

○ 小口生活福祉資金貸付事業(自主財源:500,000円)

低所得者の在宅生活の自立更正を図るための相談に応じ、適切な資金貸付を実施し、償還指導に努めた

- ▶ 平成29年3月31日現在 貸付件数 2 件 (内保護費受給者2人)
- ▶ 平成21年度 貸付滞納件数 1 件 (最終償還日 H26.9.1)
- ▶ 平成28年度 新規貸付 2 件 (内1件完済)

(7) 介護家族会の開催 4 回

(8) 認知症サポーター養成等理解促進のための学習会を開催

○ 認知症等要援護者支援体制整備推進事業

- ▶ あじさいネット会議の開催 1 回

- ▶ 介護や認知症についての基礎講座

テーマ	月日	参加人数	講 師
介護保険とサービス・認知症基礎講座 (土佐町役場田井支所 多目的ホール)	11月27日	9 人	澤田典子(土佐町保健福祉課) 伊藤楯男(キャラバンメイト)
認知症予防のための脳トレ・リフレッシュコンサート (土佐町役場田井支所 多目的ホール)	12月4日	24 人	前田郁(運動指導士) 岡田孝夫・尹敏明(クラリネット・ピアノ奏者)
若いうちから考える老後資金の話 (土佐町役場田井支所 多目的ホール)	1月22日	32 人	山根幸(ファイナンシャルプランナー)

- ▶ 認知症予防及び見守りについての啓発活動

テーマ	月日	参加人数	講 師
認知症予防コンサート	6月27日	29 人	岡田孝夫・尹敏明(クラリネット・ピアノ奏者)
産業文化祭にてパネル展示とチラシ配布活動	11月23日	3 人	和田純一、伊藤楯男、川田悦子(キャラバンメイト)

▶ あじさいネット・キャラバンメイト・一般住民に向けた学習会

テーマ	月日	参加人数	講 師
はなしの聞き方教室	3月10日	25 人	特定非営利法人井戸端わもん 川窪財

▶ キャラバンメイトフォローアップ研修へ参加

テーマ	月日	参加人数	講 師
リハビリテーション研究大会「若年性認知症になっても社会とつながって生きる」	7月3日	20 人	丹野智文(若年性認知症当事者) 北村ゆり(菜の花診療所医師)他
認知症キャラバンメイトフォローアップ研修 「認知症の人に寄り添い、共に生きる」	12月14日	3 人	くさか里樹(漫画家)

▶ キャラバンメイト養成研修会へ参加 4 人

▶ 認知症サポーター養成講座

テーマ	月日	参加人数	講 師
認知症予防のための脳トレ・リフレッシュコンサート (平石コミュニティセンター)	1月10日	10 人	和田純一(キャラバンメイト)

▶ あったかふれあいセンター集いにて認知症の方をサポート

あったかふれあいセンター平石の集いにてキャラバンメイトによる支援 3回

(9) 老人給食を活用した声かけ訪問による状況把握

▶ 給食日 24 回

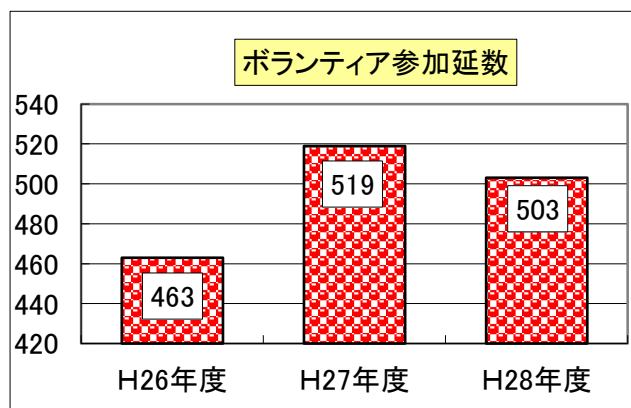
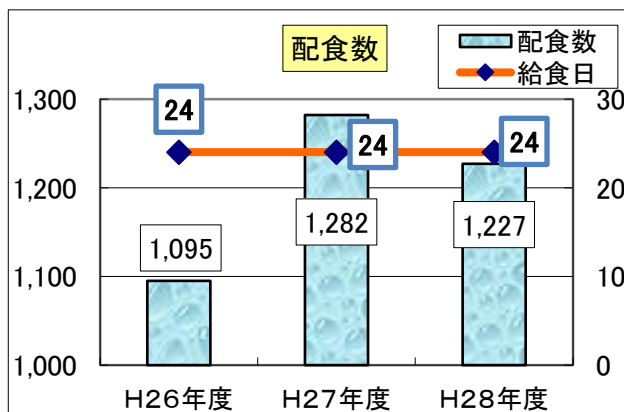
▶ 対象者 85歳以上独居高齢者又は会長が必要と認めた者

独居高齢者(月2回) 63 人

高齢者世帯(月一回) 0 世帯 (0 名)

▶ 総配食数 1,227 食

▶ ボランティア 調理 220 人 配 食 283 人 延 503 人
(内民児委員) 調理 76 人 配 食 101 人



(10) 傾聴ボランティアによる寄り添い関係の構築

- 傾聴ボランティア活動により、継続的な見守りと孤立予防活動が促進された
 - ▶ 対象者 9 名 12 回

(11) 在宅福祉サービスの苦情処理対応 3 件

(12) 地域包括支援センターをはじめ、行政や民児協等関係機関(者)との連携
による協働支援(ケース会の実施) 21 回 ネットワーク面談

必要な支援・サービスを受けられるよう、細やかなニーズ把握を行うと共に、自然災害や事故・犯罪に巻き込まれないよう日常のつながりづくりを強化しました。

(1) 民児委員・福祉推進員による地域の実態把握 随時

(2) 民児委員と連携したふれあい郵便の発送 年間対象者 33 名 12 回

(3) 旧小学校区における地域見守り支援体制づくり(で愛ふれ愛たすけ愛懇談会)

- ▶ 実施に向けて検討した

(4) 警報発令時の声掛けの定着化 民児協等意識啓発 1 回

(5) 高齢者世帯防火防災点検の実施

- 嶺北消防署、本山警察署、四国電力と協力して、独居高齢者本人と住居に対しての防災点検、防犯意識の啓発を実施
 - ▶ 4 月 14 日 対象世帯: 5 世帯(5 人) 実施地区; 田井

(6) 町外の家族とのつながりづくりにむけた検討(未実施)

(7) 民児協と連携した学校・保育・保護者とのつながりづくり

- ▶ 運動会や発表会等、行事への参加呼びかけを実施

(8) 障害(児)者のいる世帯への防犯・防災への啓発 実施無

(9) 見守り協定団体・警察との連携会議の実施 実施無

(10) 要保護児童対策地域協議会へ参加し連携強化 2 回

(11) 自立支援協議会へ参加し障害者の課題解決にむけた取り組み 3 回

就労支援部会準備会	1	回
就労支援部会準備会	1	回
相談支援部会	1	回

健康福祉課や関係機関との連携を強化し、ふれあいの場づくりを推進するとともに、外出支援体制をつくりました。

(1) 車椅子貸し出し

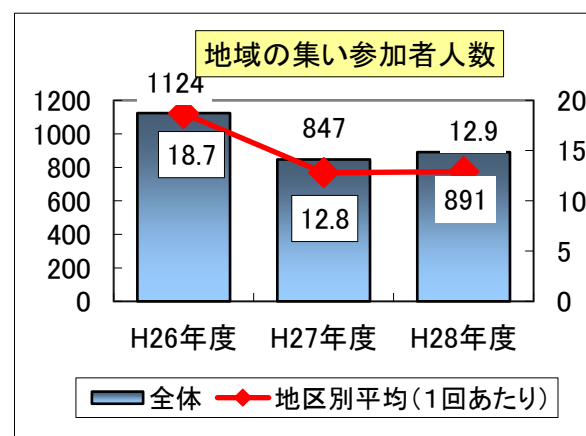
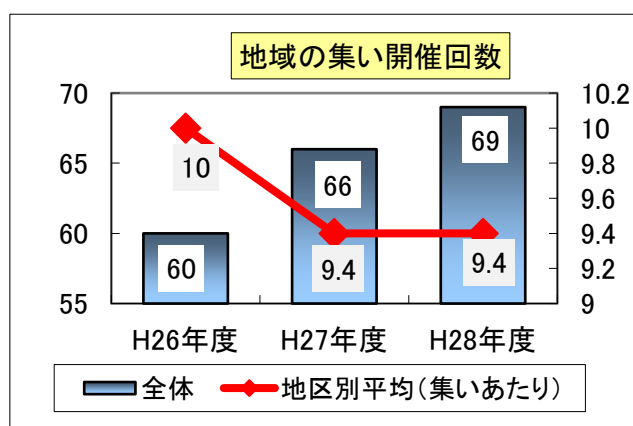
13 回

(2) フィールド医学事業と連携し、健康づくり・介護予防事業(町受託)の推進

○ 地域での転倒予防体操普及に努めた

▶ 地域の集いにおける転倒予防運動の実施

実施集い名	回 数	参加人数		備 考
		実人数	延べ人数	
中島ふれあいの集い	8	22	122	
上野・田井ふれあい喫茶	8	37	198	
八反坪	10	7	40	
桜会	10	19	94	
上ノ土居の集い	8	19	96	
田井なでしこふれあいの集い	8	35	182	
泉の里	10	14	85	平成27年度～
舞田の集い	7	13	74	平成28年度～
合 計	69	166	891	



▶ あったかふれあいセンターにおける転倒予防運動の実施

サテライト拠点	回 数	参加人数		備 考
		実人数	延べ人数	
平石	9	24	94	
地藏寺	23	29	398	
和田	8	16	153	
森	12	20	153	
石原	10	33	178	
松ヶ丘	12	26	171	
相川	7	18	71	
南川・黒丸・下瀬戸	7	15	88	
とんからりんの家	178	46	2,976	
合 計	266	227	4,282	

▶ 老人クラブとの連携による転倒予防運動の実施

老人クラブ	回 数	参加人数	備 考
土居和みの会老人クラブ(定期的開催)	8	91	トレーニングサポーター(老人クラブ会員)による体操教室

▶ トレーニングサポーター活動支援

- ・ 実際にサポーターとして体操教室(地域のつどい)へ参加 延べ 141 人
- ・ てくてく倶楽部は未実施

▶ トレーニングサポーター養成講座開催は未実施

▶ 浜田りえ理学療法士指導による体力測定や、前田郁運動指導士による体操教室
鈴木琴栄音楽療法士による健康づくり教室を開催

- ・ あったかふれあいセンター、地域の集い 19 箇所 279 人

▶ 浜田りえ理学療法士による3年間の測定結果の評価を実施

- ・ 12ヶ所 251名

▶ トレーニングサポーターフォローアップと地域住民を対象としたウォーキング教室を開催

- ・ 2回 32名

▶ 自主運営体操教室開催支援(舞田の集い、八反埦 17 回

- ・ 自主運営に向けた準備 (CD・スタンプ等体操グッズ準備)

(3) 介護予防等の事業における送迎

- あったか強化事業により、送迎の充実が図れた

(4) ひとりぐらしの集いの実施と事業の見直しを検討した

- ▶ あったかふれあいセンターへ誘い出し訪問を実施

(5) 身障協等と連携し、社会参加への取り組みを協議

- ▶ 高知市への外出支援 1 回

(6) 行政、ボランティアと連携し「やまびこ倶楽部」等で地域とのつながりを支援

- ▶ やまびこ倶楽部 10 回

(7) 障害者の移動手段確保

- ▶ 送迎のニーズには全部対応した

(8) どんぐりにおける外部就労体験の場づくりを支援

- ▶ JA・清掃事業等への就労支援

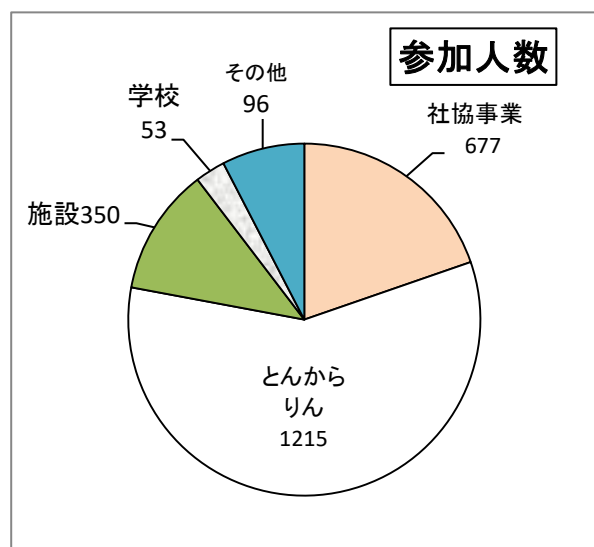
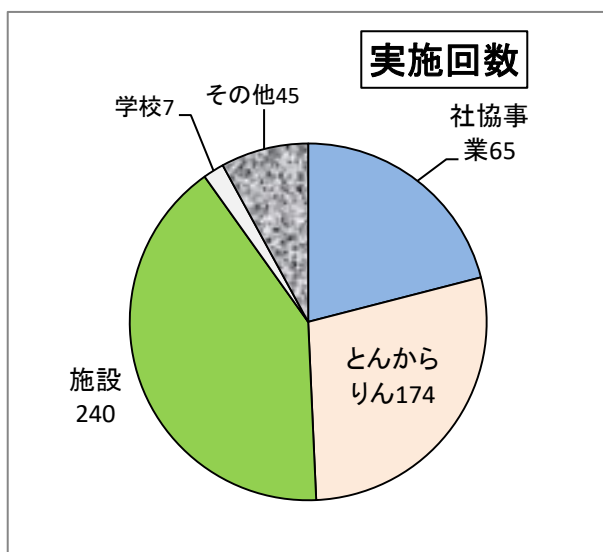
◆地域福祉部門◆

センターの役割や、ボランティア活動の見える化をすすめるため、広報・啓発を強化しました。

- (1) ほにやら新聞の発行 3 回 (1,340部/1回)
- (2) ボランティアに関するパンフレット作成・利用(未実施)
- (3) 社会福祉大会等活動発表の場づくり
 - ▶ 活動発表 ⇒ 旧相川小学校区、土佐町中学校、土佐町小学校
⇒ 社協人学びの会(土佐町中学校)
- (4) TV放送・新聞・他機関の発行する冊子等への掲載

ボランティアの養成、登録を推進し、それぞれの年代が、参加しやすい活動を推進しました。

- (1) 個人・団体の登録を推進 25 団体(1,239人) 個人 37 人
 - ▶ 機材貸出や印刷機利用など登録団体への支援を行った
- (2) ボランティア登録・相談及び実績記録の整備した



- (3) ボランティア活動推進のための協議会を設置(平成29年度以降実施検討)

- (4) 企業へのボランティア活動普及のための訪問

ほにやら新聞配布時に呼びかけ

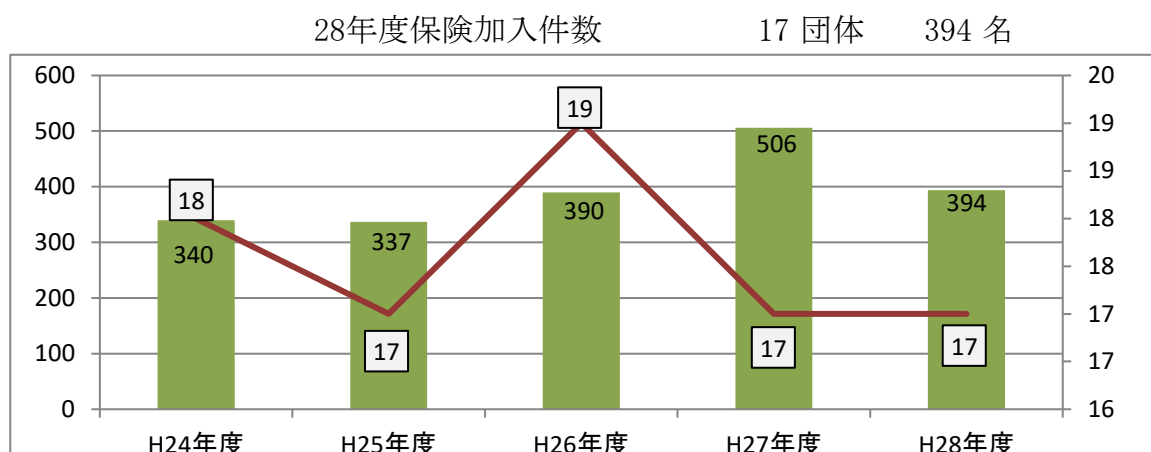
3 回

ボラセン交流会案内時

1 回

- (5) **児童生徒・PTAへのボランティア活動の促進**
- ▶ 嶺北高校生 あったかふれあいセンターボランティア募集
 - ▶ 土佐町中学校1年生 総合的な学習の時間を使って活動を促進
 - ▶ 土佐町小学校6年生 防災学習にて転倒防止器具の設置ボランティア
- (6) **ボランティアに関する研修への参加**
- ▶ 9 月 16 日 災害ボランティアセンター運営基礎研修 参加者 1 名
 - ▶ 3 月 4 日 ～ 3 月 5 日
全国ボランティアコーディネーション研究集会(福岡県)
参加者 参加者 2 名
 - ▶ 3 月 9 日 えんじょいわっしょい 参加者 2 名
- (7) **ボランティアフォローアップ研修の実施**
- ▶ トレーニングサポーターフォローアップ研修の実施
実人数 32 人 2 回
- (8) **ボランティアに関する調査実施・情報収集**
- ▶ NPO連絡会の開催に向け、訪問を行った 3 件
 - ▶ 地域福祉部会にて検討を行った 1 回
- (9) **見守り 声掛けボランティアの推進**
- ▶ 9月から12月まであったかさサテライトのチラシ配布など周知活動を行った
- (10) **日常行われている地域でのボランティア活動の見える化**
- ▶ ほにやらら新聞にて紹介 3 回
 - ▶ フェイスブックにて紹介
- (11) **家庭でできるボランティア(プチボラ)推進**
- ▶ ほにやらら新聞にて記事掲載 3 回
- (12) **新たなボランティアの発掘**
- ▶ 新規登録者 4 名
 - ▶ 新規登録団体 2 団体

(13) ボランティア活動保険への加入促進



(14) ファンドレイジング等資金づくりにむけた学習・研修参加

- ▶ FAAVO高知サブオーナー会議に参加 5 回
- ▶ 社協びと学びの会「ファンドレイジング」に参加 1 回

(15) 災害ボランティアセンターの訓練及び研修(未実施)

(16) NPO・ボランティア団体への活動支援

○ 企業、団体の活動支援とボランティア募集を行った

- ▶ 5 月 22 日 「きみはいい子」上映会
- ▶ 6 月 19 日 平石あめごつかみ大会
- ▶ 6 月 27 日 演奏ボランティア(トキワ苑)
- ▶ 7 月 24 日 新井堰あめごつかみ取り大会
- ▶ 8 月 4 日 ボランティア体験教室
- ▶ 8 月 19 日 石原サマースクール
- ▶ 9 月 20 日 演奏ボランティア(早明浦病院)
- ▶ 10 月 9 日 TOSS五色百人一首協会高知県支部活動支援(中島のつどいにてふれあい文化教室開催)
- ▶ 11 月 13 日 湖畔マラソン大会
- ▶ 11 月 20 日 ハピネススポーツクラブおもしろ運動会・ミニ八十八ヶ所ウォーキング
- ▶ 12 月 8 日 わら草履教室(下司病院)
- ▶ 12 月 11 日 すみれ楽団チャリティーコンサート
- ▶ 2 月 19 日 「さとにきたらええやん」映画上映会

(17) ボランティア団体・関係機関とのぼらせん交流会の実施

- ▶ 2 月 25 日 フォーラム末広 参加者 21 名
- ▶ 活動紹介
あったかフェスティバルの報告とボランティア紹介

(18) **レク資材・印刷機等貸し出し**

- | | |
|-------------------|------|
| ▶ レク資材 プロジェクター等資材 | 13 回 |
| ▶ 印刷機利用 | 11 回 |

学校・地域・教育委員会と連携し、福祉教育・ボランティア学習をより充実させることにより、次世代を担うボランティアを育成に努めました。

(1) **保・小・中・高との連携のための会議開催**

- | | |
|--------------------------|-----|
| ▶ 土佐町小・中学校校長、教頭先生との懇談会 | 1 回 |
| ▶ 嶺北高校とキャリア教育支援事業についての協議 | 3 回 |
| ▶ みつば保育園との事業打ち合わせ | 1 回 |

(2) **教職員・行政職員等にむけた福祉教育の研修会開催(未実施)**

(3) **授業カリキュラム作成へのサポート**

- | | |
|------------------------------|------|
| ○ 土佐町中学校1～3年生総合的な学習の時間等への支援 | 18 回 |
| ○ 土佐町小学校6年生防災学習 | 3 回 |
| ○ 嶺北高校1～3年生福祉の人材育成にむけたキャリア教育 | 4 回 |

(4) **学校応援・授業支援ボランティアの調整**

- | | | | |
|----------------------------|-----|------|------|
| ▶ 土佐町中学校授業講師のコーディネート | 9 件 | 22 名 | (述べ) |
| ▶ 土佐町中学校2年生職場体験コーディネート | | 13 件 | |
| ▶ 土佐町中学校1・3年授業地域住民ボランティア調整 | | 5 件 | |
| ▶ 嶺北高校授業講師のコーディネート | 1 件 | 10 名 | |
| ▶ 嶺北高校職場体験コーディネート | | 16 件 | |

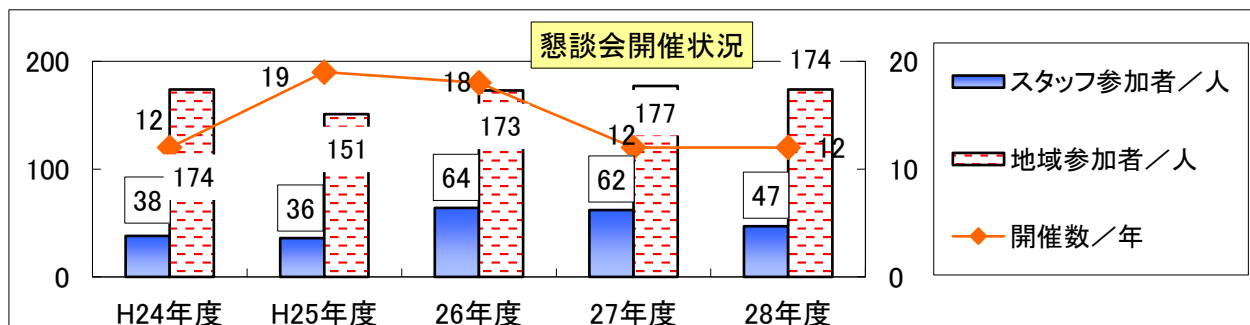
第5次地域福祉活動計画が住民に浸透するよう努めると共に、住民・行政・社協が協働できる体制をつくり、目標達成にむけた地域活動の支援を強化に努めました。

(1) **地域アセスメントシートを活用した地域支援**

- | |
|--|
| ○ 地域アセスメントシートを作成。評価員や役場地域担当リーダーに配布し、共有した |
|--|

(2) **住民同士の話し合いの場づくりを支援(旧小学校区)**

- | |
|--|
| ○ 活動目標の達成に向け、活動計画を推進する懇談会を旧小学校区単位で実施した |
|--|



- 活動目標推進に向けた推進団体等の話し合いへの支援を行った 17 回
- ▶ 相川2回、松ヶ丘8回、森2回、平石1回、和田2回、地藏寺2回

(3) 地域活動支援交付金の活用を促進

- ▶ 地区長会にて交付金の説明を行なった
- ▶ 各小学校区の懇談会にて交付金の申請を促進した
- ▶ 平石・森・和田・相川の4小学校区が、活動目標の実行に活用した
- ▶ 寄付者に支援金の使途について通知した

(4) 中・高・大学生の参加促進

- ▶ 田井→公園づくりワークショップへの参加を呼びかけ
- ▶ 石原→いしはらの里協議会新部会設立に向けた話し合いに参加
- ▶ 平石→高知大学えんむすび隊の活用を協議し、29年度実施

(5) 支援員・協力隊等地域支援における連携会議開催及び協力体制づくり

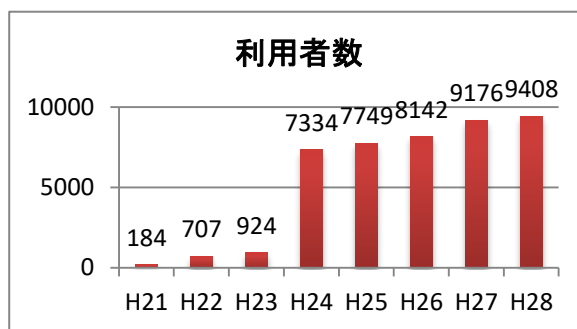
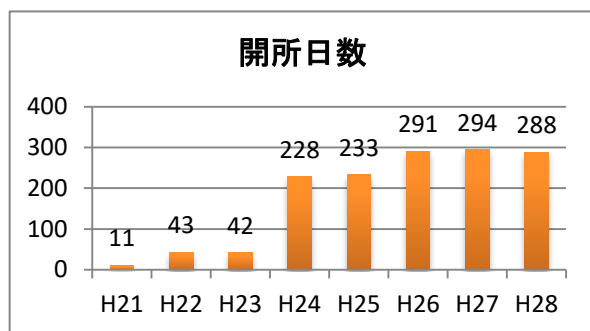
- ▶ 集落支援員・産業振興課・健康福祉課・社協の連絡会を開催 12 回
- ▶ 役場地域担当者リーダー会議に参加 2 回
- ▶ 役場地域担当者会に参加 15 回

専門職等との連携を強め、あったかふれあいセンター機能の充実を図りました。また、住民同士の支え合いの拠点づくりを進め、いつでも気軽に利用できるセンターづくりを進めました。

(1) 10か所におけるサテライト開設

- あったかふれあいセンター事業を受託し、サロンコーディネーターを2名を継続雇用した

- | | | | |
|--------------------------|------|----|---------|
| ▶ ① 集う | 288日 | 延べ | 9,408 人 |
| ▶ ② 交わる(地域間交流・保育園児・視察 他) | 73日 | 延べ | 2,883 人 |
| ▶ ③ 学ぶ | 53日 | 延べ | 1,298 人 |
| ▶ ④ 送る | 278日 | 延べ | 4,063 人 |
| ▶ ⑤ 外出支援 | 11日 | 延べ | 143 人 |
| ▶ ⑥ 訪問 | 30日 | 延べ | 115 人 |



(2) **利用していない方等へのアプローチ（訪問）**

- センター開設時間に地域訪問をするなどしてあったかふれあいセンターの利用を推進した。

(3) **異世代・地域外との交流の機会をつくる（交流）**

- ▶ 夏休みプロジェクト 6 日 307 人 （高齢者 57人、他 36人、子ども 210人）
- ▶ 冬休みプロジェクト 1 日 29 人 （高齢者 2人、他 7人、子ども 20人）
- ▶ 春休みプロジェクト 1 日 44 人 （高齢者 9人、他 6人、子ども 29人）
- ▶ みつば保育園児交流 6 日 469 人 （高齢者89人、他 12人、子ども275人）
- ▶ 地域外の方との交流 1 日 22 人 （高齢者 16人、他 3人、子ども 3人）

(4) **学習プログラムなどを取り入れ機能を強化する（学ぶ）**

53 日 1298 人 （高齢者988人、他168人、子ども142人）

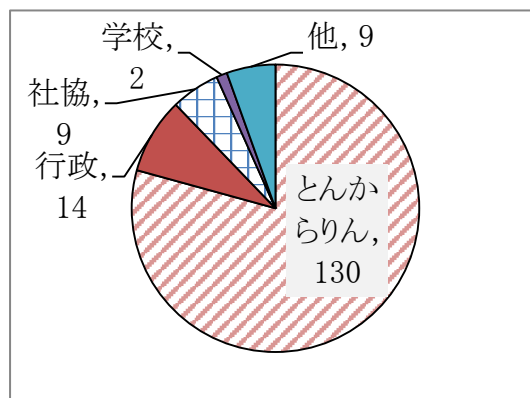
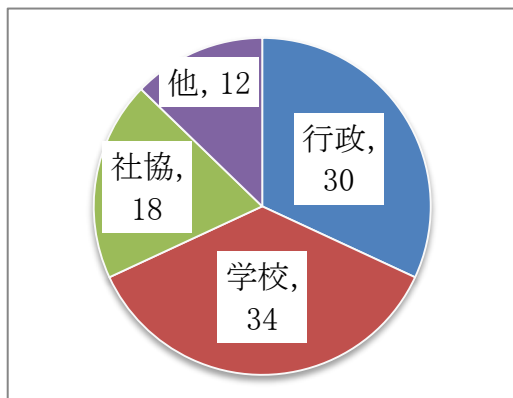
(5) **運転手の確保等送迎体制の充実(送迎)にむけ行政と検討**

- ゆうあい号・バスを有効活用し送迎の支援をした

ゆうあい号を新規購入し、自動ドア・ステップを設置等利用しやすい環境を整備した。

あったか強化事業において、送迎における運転手の確保ができた。

- とんからりんの家の送迎が課題となり、シルバー人材センターを利用し運転手を確保した



(6) **あったかふれあいセンターへのボランティアコーディネート**

194 回 1,326 人

(7) **各集い 全体会の実施**

- ▶ 2 月 19 日 全体会(あったかフェスティバル)を実施
- ▶ 3 月 15 日 地域の集い連絡会実施

(8) **拠点化と集いを支えるスタッフの配置**

- あったかふれあいセンター強化事業を受託しパート職員配置 5 名
- サテライト開設時の送迎運転手をシルバーより派遣し配置した 1 名

(9) **包括、保健師と連携した利用者ケア会議を実施** 1 回

(10) **住民の役割・出番づくりと自主運営への支援**

移住者や県内外のボランティアの活動支援や、あったかフェスティバルにおいて、出番づくりをおこなった

また、障害者支援としてペットボトルキャップで椅子の作成や木工をボランティアに頼むなど出番づくりに努めた

